

場所 宇 逢霧 国有林 00 林班 ら 小班 101

撮影年月日 平成 7 年 9 月 28 日

附記事項 広葉樹(ケマキ)天然更新法
同ヶ沢の枝打ち方法別実験

撮影者 農林水産事務(技)官



育林
年
事務(技)





00. 杉小班 No 2



育林
年

事務 (



状 况 写 真

区 分	指示 /
-----	------

都城 営林署

(様式6)



刺半葉一透樹



甘藷状況



刺半葉



甘藷状況

平成8年度 技術開発実施報告書

様式 2-2

課題名	広葉樹用材育成技術体系の確立「広葉樹（ケヤキ）天然更新法」				
課題区分	指 示 1	開 発 箇 所	岩野野国有林 30ち林小班	開 発 期 間	昭和5年～ 平成14年
当 年 度 別 実 施 計 画			当 年 度 実 施 報 告		
1. 成長量調査 2. プロット区別の枝打ち実施 3. 枝打ち後の追跡調査 4. 入口からの歩道の整備			1. 成長量調査 2. プロット区別の枝打ち実施 3. 入口からの歩道の整備		

平成9年度 技術開発実施報告書

都域

様式 2-2

課題名	広葉樹用材育成技術体系の確立「広葉樹（ケヤキ）天然更新法」				
課題区分	指 示 1	開 発 箇 所	岩野野国有林 30ち林小班	開 発 期 間	昭和58年～ 平成14年
当 年 度 別 実 施 計 画			当 年 度 実 施 報 告		
1. 成長量調査 2. プロット区別の枝打ち実施 3. 枝打ち後の追跡調査 4. 入口からの歩道の整備			1. 成長量調査 2. プロット区別の枝打ち実施 3. 入口からの歩道の整備		

平成10年度 技術開発実施報告書

都 城

様式 2-2

課題名	広葉樹用材育成技術体系の確立「広葉樹（ケヤキ）天然更新法」				
課題区分	指 示 1	開 発 箇 所	岩野野国有林 30ち林小班	開 発 期 間	昭和58年～ 平成14年
当 年 度 別 実 施 計 画			当 年 度 実 施 報 告		
1. 成長量調査 2. プロット区別の枝打ち実施 3. 枝打ち後の追跡調査 4. 入口からの歩道の整備			1. 成長量調査 2. プロット区別の枝打ち実施 3. 枝打ち後の追跡調査 4. 入口からの歩道の整備		

平成11年 技術開発実施報告・計画

様式 2

宮崎森林管理署 都城支署

課 題 目 的	1. 広葉樹用材林育成技術体系の確立「広葉樹(ケヤキ)天然更新法」		継 続 担	指 導 普 及 課	開 発	遅 霧 国 有 林
	皆伐天然下種更新における更新施業の検討を行う		新 規 当	森 林 整 備 課	箇 所	30ち 林 小 班
			開 発 期 間	昭 和 5 8 年 度 ~ 平 成 1 4 年 度		
年 度 別 実 施 経 過		11年度 実 施 報 告		12年度 実 施 計 画		
		実 施 内 容	備 考 (評価及び普及指導)			
1. 試験地設定 (1) 時期 昭和58年5月 (2) 場所 遅霧国有林30ち林小班 (3) 面積 4.99HA (昭和57年度伐採跡地) 2. 調査事項 (試験地に10箇所のプロット設定) (1) 稚樹発生活消長調査(昭和58年度~3年度) (2) 樹高成長調査(昭和60年度~3年度) (3) 植生調査(昭和59年度) (4) 成長量調査(平成8年度) 3. 施業区を設定 (1) 昭和60年度に、既設の調査プロット10が、刈出区5、無下刈区5となるよう刈出し施業区を設定 (2) 昭和63年度ぼう芽整理区を設定 4. 保育 刈出し、つる切、枝打を施業区で必要に応じ実施 5. 試験地設定(平成5年度) (1) 枝打試験地 (2) 除伐試験地設定 (3) ぼう芽木間引試験地設定 6. 5年以降の保育・整備 つる切 2.40 HA 歩道整備(平成7年度~平成11年度) 枝打 プロット別(平成8年度)		1. 成長量調査 2. プロット別の枝打実施 3. 枝打後の追跡調査 4. 進入歩道の整備	実 1. 成長量調査 施 2. つる切 計 3. 枝打後の追跡調査 画 4. 進入歩道の整備			
経 費 科 目						
		品 名	数 量	単 価	金 額	
		物 件 費				
		役 務 費				
		人 件 費	基 職	() 人		
			臨 時	10人		
		計		10人	千円	

- (注) 1. 課題欄には、技術開発課題名に番号を付して記入する。
 2. 実施報告欄には、当該年度の開発成果を記入する。
 3. 備考欄には、開発成果の評価等について記入する。